

土砂災害

土砂災害の特徴と前兆現象

がけ崩れ

がけ崩れは、急な斜面で突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

前兆現象

- がけから水が湧き出る
- がけから小石がぱらぱら落下
湧水のにごり
- がけから小石がぼろぼろ落下
亀裂の発生

がけ崩れ発生

土石流

土石流は、谷筋で起きますので、土砂などが水と一っしょに流れ下り、スピードが速く大きな破壊力を持っています。

前兆現象

- 山鳴り・地鳴り
- 流木発生・渓流内の転石の音
- 水位の急激な低下

土石流発生

地すべり

地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動き出しますので、速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

前兆現象

- 地面にひび割れができる
井戸や沢の水がにごる
- がけや斜面から水がふき出す
- 樹木が傾いたり倒れたりする

地すべり発生

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

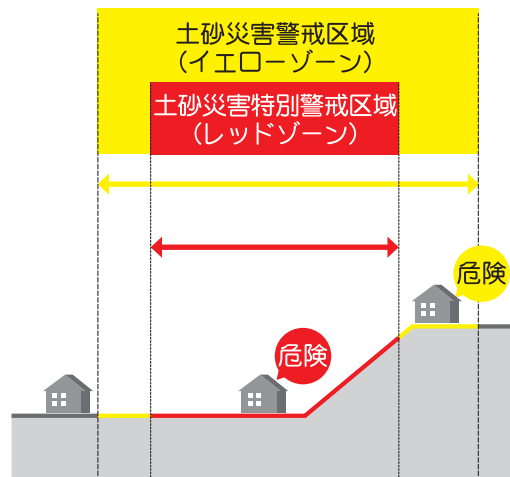
長野県が、土砂災害防止法に基づき「土砂災害が発生したときに住民などの生命または身体に危害が生じるおそれのある地域」を指定したものです

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域内で被害等を受けるおそれが特に高い地域です。区域内での開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある地域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。



市からの避難情報

「警戒レベル3」で危険な場所から高齢者等は避難、
「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難を。

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。警戒レベルが出されたとき、それぞれの段階に合った行動をとってください。

重要なポイントは、「警戒レベル3」が発令されたら、高齢の方や障がいのある方など避難に時間がかかる方やその支援者の方は危険な場所から避難し、それ以外の人も、普段の行動を見合わせたり避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難することです。「警戒レベル4」が発令されたら、対象となる地域住民の方々は危険な場所から全員避難しましょう。

市からの情報が出る前でも、身近に危険が迫っている場合には、避難情報を待たずに避難を開始してください。また、避難場所への移動が、かえって命に危険を及ぼす状況にある場合には、近隣もしくは屋内の安全な場所へ避難してください。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報
高 警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!	既に 災害が発生・切迫 している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~			
危険 警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	災害が発生する危険が高まっています。 <b>速やかに危険な場所から避難先へ避難</b> しましょう。	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は 避難	<b>避難に時間を要する人</b> （ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその <b>支援者</b> は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの <b>避難行動を確認</b> しましょう。	大雨・洪水注意報等	大雨・洪水注意報 氾濫注意報等
低 警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	早期注意情報

## 用語の説明

<b>大雨特別警報</b>	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想される場合に発表します。※48時間降水量257mm超、3時間降水量・101mm超【50年に一度の値参照】気象庁情報
<b>土砂災害警戒情報</b>	大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時に市長が避難勧告等の発令する際の判断や住民の避難の参考となるよう県と気象庁が共同で発表します。
<b>大雨警報</b>	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
<b>大雨注意報</b>	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

雨がやんでも土砂災害等のおそれが残っている場合は雨がやんでも解除されません。